SONY®

3-990-050-**08**(1)

NSB1/NSB2 ラジオ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ICR-N1

主な特長

- フェライトバーアンテナ内蔵。ロッドアンテナがないので、ポケットに入れたまま使うのに便利です。
- 電源を入れてから約90分でラジオが自動的に切れるパワーオートオフ機能付き。
- LEDによるNSB1/NSB2インジケーター。
- クリスタルを使ったプリセットチューニングで選局はワンタッチ切り換え。
- 持ち運びに便利な名刺サイズのラジオ。
- 音の良い高性能イヤーレシーバー付属。

使用上のご注意

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
  —温度が非常に高い所（40℃以上）や低い所（0℃以下）。
  —直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  —風呂場など湿気の多い所。
  —窓を閉めきった自動車内（特に夏季）。ほこりの多い所。
- ラジオ内部に液体や異物を入れないでください。
- 汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナーやベンジンは表面をいためますので使わないでください。
- キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカーの磁石の影響でカードの磁気が変化して使えなくなることがあります。
- 耳をあまり刺激しないように、適度な音量でお楽しみください。
- 常によい音でお聞きいただくために、プラグをときどき柔らかい布でからぶきし清潔に保ってください。
- イヤーレシーバーをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはソニーの相談窓口に相談してください。

万一故障した場合は、内部をあけずに、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

受信周波数	NSB1：3.925 MHz、6.055 MHz、9.595 MHz NSB2：3.945 MHz、6.115 MHz、9.760 MHz
スピーカー	直径 3.6 cm
出力端子	⑨（イヤホン）端子 （超ミニジャック ø 2.5 mm）1個
実用最大出力	80 mW（JEITA*）
電源	DC 3 V 単4形乾電池2本
パワーオートオフ機能	約90分
最大外形寸法	約55.5 mm × 92 mm × 15 mm（突起部含む）（幅/高さ/奥行）（JEITA） 約55 mm × 91 mm × 15 mm（突起部含まず）（幅/高さ/奥行）
質量	約71 g（乾電池含む）

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

付属品

ソニー単4形乾電池（お試し用*）（2） イヤーレシーバー (1)
イヤーパッド (1) キャリングケース (1) 取扱説明書 (1) 保証書（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）

* 付属の乾電池はお試し用です。購入する場合はソニーアルカリ乾電池をおすすめします。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

故障とお考えになる前に

修理にお出しになる前に、次のことをお調べください。

ラジオの音が全く聞こえない。

➔ 乾電池の⊕⊖が逆になっている。
➔ 乾電池が消耗している。
➔ 音量が最小になっている。
➔ ⑨（イヤホン）端子にイヤーレシーバーが差し込まれている。

雑音が多く、音が悪い。

➔ 乾電池が消耗している。
➔ 電波が弱い。
建物や乗り物の中では電波が弱いので、なるべく窓際でお聞きください。
➔ 選局が適切でない。
短波放送受信の場合には、放送時間や周波数にご注意ください。特にラジオたんぱ第2放送（NSB2）は放送時間帯が限られています。放送時間帯については新聞などをご覧ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときは

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではラジオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口
フリーダイヤル··············· 0120-333-020
携帯電話·PHS·一部のIP電話·· 0466-31-2511

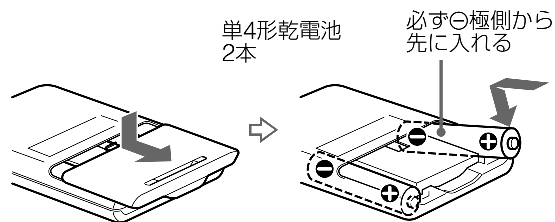
修理相談窓口
フリーダイヤル··············· 0120-222-330
携帯電話·PHS·一部のIP電話·· 0466-31-2531
※取扱説明書·リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX（共通）0120-333-389

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「304」+「#」
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

乾電池を入れる



1　電池入れのふたを開ける。

2　乾電池を入れる。

3　ふたを閉める。

乾電池の持続時間

—**ソニー単4形（R03）マンガン乾電池使用時 (JEITA*)**

　イヤーレシーバー使用時　約42時間

　スピーカー使用時　約17時間

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。実際の電池持続時間は使用する機器の状況により変動する可能性があります。

乾電池の交換時期

乾電池が消耗してくると音が小さくなったり、ひずんだりします。その場合は、乾電池を2本とも新しいものと交換してください。

電源が突然切れてしまった！

パワーオートオフ機能が働いています。電池のむだな消耗を防ぐために自動的に電源が切れるようになっています（パワーオートオフ機能）。電源が切れるまでの時間は電池残量により異なり、約90分後です。POWER/AUTO OFF（電源/オートオフ）ボタンを押しても電源が入らない場合や、すぐに電源が切れる場合は、電池がカラになっているので新しい電池と交換してください。

電源が切れた後、さらにお聞きになりたいときは、もう1度POWER/AUTO OFF（電源/オートオフ）ボタンを押します。

ラジオたんぱ（NSB）の受信について

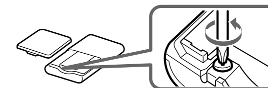
短波放送は、AM放送、FM放送とは異なり、季節、時間、場所によって音が大きくなったり小さくなったり、時には、まったく聞こえなくなることがあります。放送を最も良い状態で聞くために、以下の点を注意してお使いください。

- ラジオたんぱ第1放送（NSB1）とラジオたんぱ第2放送（NSB2）は、それぞれの放送内容を3種類の周波数（3 MHz、6 MHz、9 MHz）で同時に放送しています。放送が最もよく聞こえる周波数を選んでください。
- 短波放送受信の場合には、放送時間や周波数にご注意ください。特にラジオたんぱ第2放送（NSB2）は放送時間帯が限られています。放送時間帯については新聞などをご覧ください。
- アンテナが内蔵しているので、ラジオ本体の向きを変えて、最も良く受信できる方向にしてお聞きください。
- 乗り物や建物の中で聞く場合は、なるべく窓際で聞いてください。

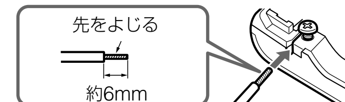
電波が弱い屋内など良好な受信ができない場合は、市販のリード線を外部アンテナ端子につないでください。

1　裏面の電池ぶたをはずします。

2　⊕のドライバーでネジを充分ゆるめます。

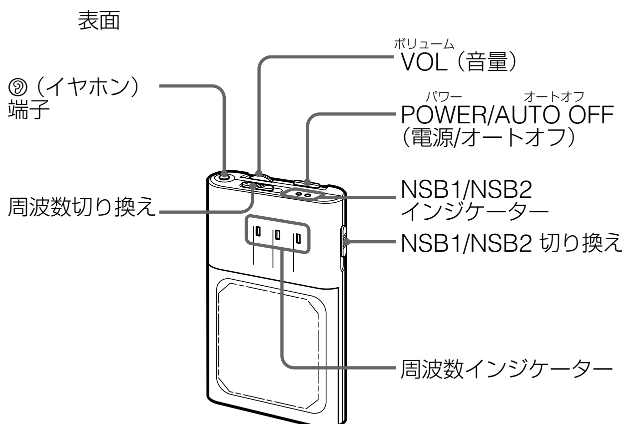


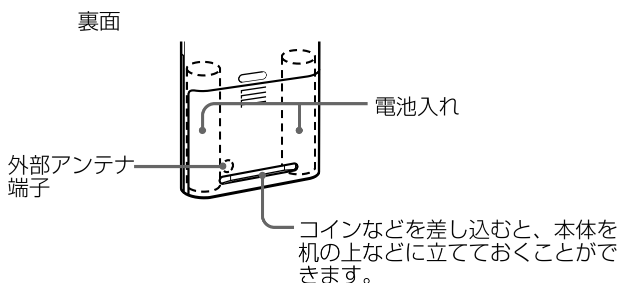
3　リード線の被覆をはがして溝に差し込み、ネジをしめます。



4　リード線のもう一方の端を、窓から外に垂らします。

各部のなまえ





ラジオを聞く

スピーカーまたは付属のイヤーレシーバーで聞くことができます。

1　**POWER/AUTO OFF（電源/オートオフ）ボタンを押して電源を入れる。**

2　**NSB1/NSB2切り換えスイッチを聞きたい放送に合せる。**

　1：ラジオたんぱ第1放送（NSB1）

　2：ラジオたんぱ第2放送（NSB2）

3　**周波数切り換えスイッチを放送が最も良く聞こえる位置に合せます。**

　ラジオたんぱ第1放送（NSB1）とラジオたんぱ第2放送（NSB2）は、それぞれの放送内容を3種類の周波数で同時に放送しています。最も良く聞こえる周波数（3MHz, 6MHz, 9MHz）を選んでください。周波数によっては聞きずらい場合がありますので、放送が最もよく聞こえる位置に、スイッチを合せてください。

4　**VOL（音量）つまみで音量を調節する。**

電源を切るときは

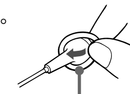
POWER/AUTO OFF（電源/オートオフ）ボタンを押します。

イヤーレシーバーで聞く

◎（イヤホン）端子にイヤーレシーバーをつなぎます。スピーカーからは音が出なくなります。

イヤーレシーバーが耳にぴったり合わないときは

付属のイヤーパッドを使います。



付属のイヤーパッド